

平成 30 度 総合所見一覧

園名	保育の特色
高浜幼稚園	<p>市の中央部に位置し小学校とも隣接しており、教育内容について職員間で共通理解をしながら連携を深めている。園の周りは商業地域で商店などの施設も多く、交流しやすい環境にあり、園児が社会体験できる機会を積極的に取り入れている。</p> <p>保護者の多様なニーズに対応し、早朝保育や預かり保育の長時間化を実施するなど子育て支援に向けたサービスを提供。就労家庭の増加と共に利用者も増えている。</p> <p>隣接する小学校の体育館を借り、運動器具を使用した運動遊びを継続的に行っている。講師を招き、指導を受けることでダイナミックな遊びを体験し、より体を動かすことの楽しさを実感することができる。子ども達のもっとやりたい・またやりたいという思いを大事にし、日常保育の中で意欲を引き出せるよう職員間の話し合いを繰り返し、園庭の遊び環境の見直しに取り組んでいる。</p> <p>表現活動の一環として、数年前から外部講師の指導を受け絵本作りを行っている。グループで作品を仕上げる中で、自由な発想や表現力、個々の役割・制作技術の向上に向け、多様な学び体験の場となっている。また、作品展として保護者に自由に参観できる機会をつくることで、子どもの理解や育ち、園活動の理解につなげている。</p> <p>地域の方の協力を得て、園庭にある畑で季節に合った野菜作りや遊びに活用出来る綿作りなどを行っている。栽培を通して地域の方との交流や自然との触れ合い、植物を身近に感じる環境が整っている。</p>
よしいけ保育園	<p>新興住宅と県営住宅に囲まれた場所にあり、程良い距離に公園もあり自然に親しむことができる。敷地内にはデイサービスが併設されており、一年を通して計画的に交流を実施している。毎週のお茶出し当番活動では、子どもたちがお年寄りを身近に感じられる体験の場となっている。</p> <p>園舎内に子育て支援センターが併設され、手作り感のある遊び場が整えられている。</p> <p>早延長保育、一時保育、休日保育、専門講師を招いてのリトミック、英語、体育指導、マナーデー等に取り組み、保護者の多様なニーズを満たす保育が展開されている。</p>

	<p>各種行事は、実体験を通し五感を働かせながら季節や旬の良さを感じられるよう様々な分野にわたって考えられ、絵画展など特徴的な取り組みもしている。</p> <p>栄養士と連携し、定期的な会食や子どもたちの目の前で手作りおやつを見せるなど、食に関連する行事も多く、舌で味わうことで味覚を養い、ワクワク体験を通して心を育て、感性を刺激する保育に力を入れている。今年度は新たにバター作りに挑戦し、食育の充実に向け取り組んでいる。</p> <p>園舎内の花壇にはパンジーなどの花々が沢山植えられ、植栽（山椒など）や小動物に触れられるコーナー、絵本紹介などがあり、四季を意識した自然と関わる機会をふんだんに取り込んでいる。</p> <p>園舎の中心にある園庭を使いやすいように手作りの仕切りやプランターなどで工夫して仕切り、のびのびと遊べるスペースを確保している。未満児用の遊び場は保育室のすぐ前に設置し、遊び出しやすい環境であると同時に目も十分に行き届き、安全への配慮がなされている。低年齢児も見守りの中で安心して戸外遊びを楽しむ姿が見られる。室内遊びに必要な玩具は子どもの成長発達に合わせ、数ヶ月ごとに見直しを行うなど、細やかな配慮が見られる。</p> <p>園庭の上空には電飾が飾られ、夢と想像の世界が感じられるようにしている。夕方の点灯時には、冬場の暗さにイルミネーションの彩りが添えられ癒やされる空間となり、園全体の暖かい雰囲気伝わってくる。</p>
吉浜さんさん保育園	<p>平成26年設立、昨年、初めての卒園児を小学校へ送り出し、5歳児保育も二年目となった。すべての年齢の子どもがそろった保育が充実してきており、新しい園長とともに、職員が学びあって実践をつくっている様子がうかがえる。園全体に活気があり、一人ひとりの保育者が、子どもの声を聴き、保護者の要望に応える保育を実践しようとしている。木材をつかった園舎、子どもの目の高さにある給食室、湿度にも気を配られた室内環境、人形細工の技術をつかった収納家具など、吉浜さんさん保育園にしかみられない質の高い保育環境がある。園庭にも子どもたちが自分である環境が用意されていた。寒い日でも日常的に戸外に出て保育をしている様子がうかがわれた。今後、ますます、子どもたちのあそびが発展しやすい環境になっていくことが予想される。</p> <p>若手保育者の保育記録に対して、園長や主任が目を通し、保育実践の情報を日々共有している。個</p>

	<p>別対応が必要な保護者や子どもについては、丁寧に時間をとり、話しを聞き、対応している。乳児クラスにおける育児担当制などの十全な実施のため、多くの時間を保育者同士の気づきや学びに費やしている様子が察せられた。また全年齢を通して、レッジョ・エミリア市の表現を保障する保育に学び、アートの日を設け、子どもが「つくること」に取り組むことも大切にしている。保育者の日々の学びが実践を支えており、株式会社立の保育園であるが、利潤の追求よりも「保育の質」を高める努力がなされている。地域の中にこうした園があることで、公立・私立・民間立という垣根を越えて、地域の子どものために質の高い保育を保証する方途が示されている。</p> <p>伝統芸能である吉浜人形の文化遺産が、日常の保育を創り出し、市民を支えている好例といえる。今後、どのように小学校との連携を進めていくのかなど、これからの実践が期待される。</p>
吉浜保育園	<p>年長のクラス名であるせんだん（梅檀）の木が園庭の中央にあり、園のシンボルになっている。近くの公園や神社に出かけることができ、まちづくり協議会との連携もあって、触れ合い農園での苗植えや収穫体験、園行事への招待など地域との関わりも充実している。</p> <p>隣接のコミュニティガーデンとは計画的に交流し、花の苗の購入などで子ども達が直接利用者の方と触れ合ったり、お泊まり保育で入浴させてもらったりして、互いに協力し合い良好な関係が築かれている。</p> <p>栄養士が常駐し子どもの喫食状況などの実態を把握している事で、日常的に保育者と話し合う機会があり、意見交換の中で献立やクッキングなどに反映させるなど、より良い食事スタイルに向けての取り組みを進めている。流しそうめんやサンマパーティー、焼き芋会など子ども達の実体験も多く取り入れると共に、厨房見学などを通し調理作業の様子を見たり、調理員と触れ合う機会を作ったりし、より「食」を身近に感じられるように様々な工夫がされている</p> <p>職員間の連携は毎日の朝礼や会議などでとれており、特に乳児保育の担当制はきめ細やかな配慮のもとで行われている。わらべうたによる保育実践や愛着関係の安定的な構築は保育者による学習の成果であり、子どもの育ちに最も大きな影響を与えるが、そうした点についてよく学び取り込まれている。毎日行う登園時の立ち会い、視診を含めた声かけなどでは、保護者の育児支援や保育</p>

	<p>援助に努め、虐待の早期発見につながるよう丁寧な関わりを心掛けている。</p> <p>年間を通して専門講師を招き体育指導、英語、リトミック等を実施。また、以上児の縦割り保育を計画的に実践し毎月の「なかよしデー」や「三人家族」を継続的に進め、思いやりの心やいたわりの気持ちを育てると共に、社会性や協調性の学びの場にもなっている。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------